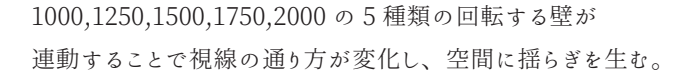
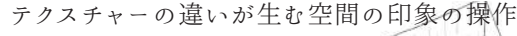
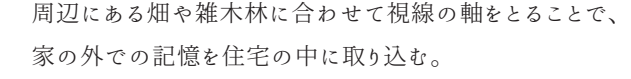




押し入れの扉の大きさとは可動域



軸と敷地の関係性



間がつながるとテクスチャがさまざまな記憶を引き出す。

1F plan

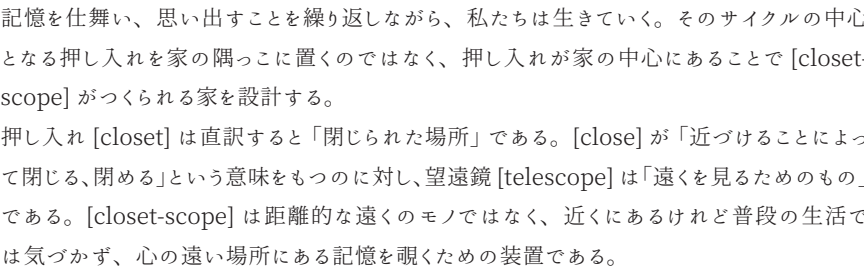


押し入れの扉を開けて、モノを片付けている時。
懐かしいモノを手に取り、
できた隙間から家の中の風景が抜けていった瞬間、
忘れていた出来事の記憶が思い出され、手が止まる。
止まっていたモノの時の流れは動き出し、
頭の中の私は、過去のある地点に戻る。

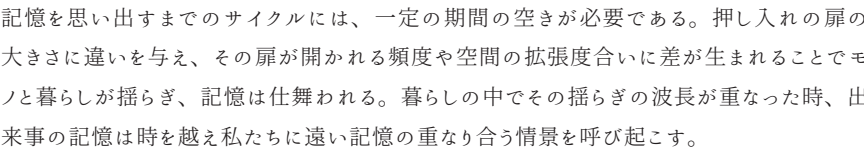
暮らしの中にあるふとした瞬間に
押し入れは、私たちの心の遠い場所にある
いつかの記憶を覗く望遠鏡になる。

深淵を覗き込むとき、深淵もまたこちら側を覗き
望遠鏡を覗いて星を見ると、星もまたこちら側を見ているように
家もまた、忘れていた出来事を思い出して、一緒に笑う。

propose



program



epilogue

